

二〇〇六年度後期／二〇〇七年度前期 文学研究科院生の研究活動

真宗学専攻

○真宗研究会

《修士論文中間発表》

【矢田了章ゼミ】

日程 二〇〇六年十月十一日（水） 於 本学清和館三階大ホール

・真宗の信心

大草証子（M2）

・親鸞における菩薩道

佐々木真章（M2）

・三願転入

服部浩紀（M2）

日程 二〇〇六年十月二十五日（水） 於 本学清和館三階大ホール

・覚醒の基礎的研究

上杉泰成（M2）

・真宗における浄土の意義

那須智雄（M2）

・真宗神祇観の考察

楠原純悠（M3）

【武田龍精ゼミ】

日程 二〇〇六年十月二十六日（木） 於 本学清和館三階大ホール

・二種法身の「関係性」と行者の「観点」の問題——「空間的否定」から「時間的限定」へ——

浮島範道（M2）

・三願転入の一考察

江波信証（M2）

・親鸞における罪惡の研究

鴻嶺善隆（M2）

・念仏の形而上学的研究——法然浄土教を中心として——

小西善憲（M2）

・女人往生の研究

永田周子（M2）

・未定

尾野義顕（M3）

【大田利生ゼミ】

日程 二〇〇六年十月十七日（火） 於 本学清和館三階大ホール

・親鸞の本尊論

井村智仁（M2）

・真宗における救い

恵美徹生（M2）

・親鸞聖人の菩提心論

桑原昭信（M2）

・『論註』における涅槃論の研究

田中無量（M2）

日程 二〇〇六年十月二十四日（火） 於 本学清和館三階大ホール

・浄土真宗における利他——還相回向を視座として——

能美潤史（M2）

・『方便化身土文類』の意義について

野村淳爾（M2）

・正定聚

靈山長子（M2）

・親鸞の生命観

香川公潤（M3）

【林智康ゼミ】

日程 二〇〇六年十月十七日（火） 於 本学清和館三階大ホール

・親鸞聖人における末法思想の研究 本郷淳乗（M2）

・覚如思想の形成と展開―『口伝鈔』を中心に―

三明大慶（M2）

・往相廻向・還相廻向についての考察―唯物論的弁証法の立場より

り往還二廻向の思想をたずねる― 木田昌志（M2）

日程 二〇〇六年十月二十四日（火） 於 本学清和館三階大ホール

・親鸞における「大行・大信」について 平井幸太郎（M2）

・浄土真宗における物語的次元について―叢林集を中心に―

楠 北斗（M2）

【内藤知康ゼミ】

日程 二〇〇六年十月十六日（月） 於 本学清和館三階大ホール

・三業惑乱の研究 赤星恵照（M2）

・二種深信の建立 江波正朗（M2）

日程 二〇〇六年十月二十三日（月） 於 本学清和館三階大ホール

・親鸞における信の研究 ―三心一心を中心として―

島田寛了（M2）

・浄土真宗における平和 不二見悦郎（M2）

【川添泰信ゼミ】

日程 二〇〇六年十月十七日（火） 於 本学清和館三階大ホール

・浄土真宗における伝道についての一考察 岩田 紘昭（M2）

・浄土真宗の救いの構造

田丸道仁（M2）

日程 二〇〇六年十月二十四日（火） 於 本学清和館三階大ホール

・浄土教における行観の展開―法然・親鸞を中心に―

福田依正（M2）

・親鸞における真宗教義の社会的展開の考察 松永徳成（M2）

《例会》

日程 二〇〇七年七月六日（金） 於 本学清和館三階大ホール

講師 内藤 知康（本学教授）

演題 親鸞の往生思想

講師 安富 信哉（大谷大学教授）

演題 願生浄土

○現代教学研究会

《定例学習会》

各週曜日不定 午後六時より 於 真宗学第二合同研究室

テーマ 「いのちの教育」のための教材作成に関する研究会

研究成果は『真宗研究会紀要』三十九号に掲載している。

○学会発表

《龍谷大学真宗学会第六〇回大会》

日程 二〇〇六年十一月二十一日（火）

於 本学清和館三階大ホール

・存覚上人における隠顯義

赤井智顯 (D2)

・尊号真像銘文の選述について

松月英淳 (D3)

・三業惑乱期における興正寺関係資料の研究—大麟師『真宗安心

正偽篇』を中心として—

北岑大至 (D3)

《日本印度学仏教学会第五十八回学術大会》

日程 二〇〇七年九月四日(火)・五日(水)

於 四国大学

・『安樂集』における浄土理解の一考察

入井公昭 (D3)

・西吟教学における真如理解について

藤田真証 (D3)

・真宗一念覚不論における「覚知」の語義の検討

岡林俊希 (D2)

仏教学専攻

《修士論文中間発表》

日程 平成十八年十月二十五日(水)

於 龍谷大学大宮学舎東翼二〇四教室

・八千頌般若経第一章の研究

青島円美 (M2)

・インド出家者の食生活

井上綾瀬 (M2)

・止観の研究

K. プラボンサック (M2)

・ブドガラ説の研究—kathāvatthuを中心として—

黒川 悠 (M2)

・中有の研究

賈 純真 (M2)

・スリランカにおける上座仏教の特色

黒川宣行 (M3)

日程 平成十八年十月二十六日(木)

・信願上人良遍の教学研究

高都持大道 (M2)

・『安樂集』における弥陀仏身論の一考察

高橋和法 (M2)

・宗密における『大乘起信論』観

橘 行信 (M2)

・日蓮における戒壇思想の研究

日種信隆 (M2)

・『孟蘭盆経』について

上久保擁子 (M3)

・目連の母とその救済について

筑後誠邦 (M2)

・律蔵における出家

塚本丈智 (M3)

《平成十八年度龍谷仏教学会学術研究発表会》

日程 平成十九年一月二十五日(木)

於 龍谷大学大宮学舎西翼二階大会議室

・不可思議撰『大毘盧遮那経供養次第法疏』の基礎的考察

亀山隆彦 (D1)

・『摩訶止観』における遠方便と近方便の関係 村上明也 (D1)

・『中論』第二十七章の構成について 金沢 豊 (D2)

・阿閼仏国への往生 金子大輔 (D2)

・亡命チベット社会の民主化 榎木美樹 (研究生)

・Mahāpadāmasūtraにおける過去仏成道記事の問題点

天野 信 (研究生)

・堀池信証の仏身観

大谷欣裕 (研究生)

日程 平成十九年九月五日 (水) 於 四国大学

・中世華嚴教学における浄土義解釈

野呂 靖 (研究生)

・『摩訶止観』の六即大乘説に対する疑義 村上明也 (D2)

・安慧釈を中心とする「識転変」について

高岡善彦 (研究生)

・『中論頌』における *utpatti* — 第二十七章を中心に —

金沢 豊 (D3)

《二〇〇七年度卒業論文の書き方説明会》

日程 平成十九年六月二十六日 (火)

於 龍谷大学大宮学舎東翼一〇一教室

・卒業論文をどう書くか

金沢 豊 (D3)

・資料収集と保存方法

鍵和田聖子 (D2)

哲学専攻

・卒論執筆に関する注意事項

村上明也 (D2)

《龍谷学会・龍谷哲学会主催学術講演会》

日程 二〇〇六年十二月八日 (金)

《日本印度学仏教学会 第五十八回学術大会》

日程 平成十九年九月四日 (火) 於 四国大学

・Bhojanīya と Khādaniya

井上綾瀬 (D1)

・『大日経疏』における浅略釈・深秘釈について

亀山隆彦 (D2)

・『阿閼仏国経』における菩薩道の意義

金子大輔 (D3)

・『俱舍論』以前のアビダルマ論書における「色 (rūpa)」解釈

松島央龍 (研究生)

・『釈迦如来行跡頌』に見られる釈迦如来一代記—天台教学の視点からの考察—

朴 昭映 (研究生)

《龍谷学会・龍谷哲学会主催学術講演会》

日程 二〇〇七年七月六日 (金)

於 龍谷大学大宮学舎清和館3Fホール

講題 「イムラーム—教え、歴史と社会、人々の生活—」

講師 塩尻和子氏 筑波大学北アフリカ研究センター長

・信証撰『大毘盧遮那経住心鈔』に於ける教主義—安然教学の受容とその因由—

大谷欣裕 (研究生)

鶴田大悟 (研究生)

於 龍谷大学大宮学舎清和館3Fホール

講題 「中世における信仰と理性—カンタベリーのアンセルムスにおける神理解—」

講師 クラウス・リーゼンフーバー氏

上智大学文学部哲学科教授

教育学専攻

《二〇〇七年度修士論文中間発表会》

日程 二〇〇七年七月二十一日 於 龍谷大学大宮学舎 南二〇二

- ・「聴覚障害者が抱くピア・カウンセリングのイメージ像の研究
「探索的因子分析によるモデルの検討」 久保聡之 (M2)
- ・「不登校キャンプにおける参加児童のキャンプ参加回数とその
効果」 伊東秀章 (M2)

- ・「自己受容と友人関係の親密性について」大学生と中学生の比
較から」 山田絃子 (M2)

- ・「自己没入傾向が高い青年期抑うつ者の認知特性について」

小山秀之 (M2)

- ・「ひきこもり本人グループに属するメンバーの社会参加過程に
関する考察」 松永尚美 (M2)

- ・「訪問リハビリテーションにおける療法士への祖親性の発現と
老年期の「生きることの質」の関係」 今西美由紀 (M2)

- ・「SCTによる高齢者の死生観の研究」 石野 学 (M2)

- ・「ストレスコーピングと身体症状の関連性について」

三井敏生 (M2)

- ・「女子学生における過食傾向と怒りとの関連」 山下美和 (M2)

- ・「社会教育施設における指定管理者制度についての研究」博物

館における教育活動の視点から」 八木隆明 (M2)

- ・「青少年が有償の教育サービスを利用する意義について」

田中瑛子 (M2)

- ・「子育て支援についての一考察」京都市における経済的支援の
分析をもとに」 宮木康寿 (M2)

- ・「臨時教育審議会の求めた学力に関する研究」生涯学習体制の
視点から」 吉良仁美 (M2)

- ・「学校教育の社会的選抜機能における階層的不平等についての
一考察」 武田猪久生 (M2)

- ・「青年期における対人ストレス場面での心理的距離のとり方に
ついて」 豊永佳子 (M2)

- ・「医療現場における臨床心理士の専門性に関する一考察」がん
患者・難治性疾患患者に関わる医療従事者へのアンケート調
査・インタビュー調査を通して」 丸屋かおり (M2)

- ・「大学生の職業選択における意思決定と親のイメージの関連に
ついて」 辻 寛子 (M2)

- ・「シユナイターにおける中等教育段階の教育の研究」

森 和子 (M2)

〈学会発表〉

《日本心身医学会近畿地方大会》

日程 二〇〇七年二月二十三日～二十四日 於 ピアザ淡海

の治療関係の一考察」

赤田太郎 (D3)

- ・「メンタルヘルスを目的とした集団コーラージュ法のプロセスの分析—複線経路・等至性モデル (TEM) による作品の分類」

赤田太郎 (D3)

- ・「青年期抑うつ反応の予防に関する一考察—自己没入傾向が高い抑うつ者の認知に関する研究」

小山秀之 (M2)・島田 修 (本学文学部教授)

《関西社会福祉学会》

日程 二〇〇七年三月四日 於 龍谷大学大宮学舎

- ・「介護福祉士養成教育における構成的エンカウンター・グループの教育的効果についての研究」

児玉龍治 (D2)

《日本家族研究・家族療法学会 第二十四回大会》

日程 二〇〇七年五月二十五日 於 龍谷大学深草学舎

- ・「自然気胸をきっかけとした腹痛を主訴とする男子高校生の不登校事例—システムズアプローチによる母親面接—」

赤田太郎 (D3)

《日本家族心理学会 第二十四回大会》

日程 二〇〇七年六月十七日 於 立正大学大崎キャンパス

- ・「親子関係と友人関係の違いから考える人間関係のマクロ理論—人間関係の水準を示唆する一般関係性理論による心理臨床

の治療関係の一考察」

赤田太郎 (D3)

《日本コミュニティ心理学会 第十回大会》

日程 二〇〇七年六月二十日 於 九州大学西新プラザ

- ・「自己開発を目的とした集団コーラージュ法 (集団集団法) にみる自己理解と他社理解のプロセスについて」

赤田太郎 (D3)

《日本ブリーフサイコセラピー学会 第十七回長野大会》

日程 二〇〇七年八月二十六日 於 信州大学教育学部

- ・「治療者が夫婦間コミュニケーションをどう受け取るかについての一考察」

米田一実 (D1)

《日本社会教育学会 第五十四回研究大会》

日程 二〇〇七年九月八日・十日 於 東京農工大学

- ・「企業における「職業観・勤労観」に関する研究」—人事採用担当者と男女若手社員を対象とした調査から—

小野憲一 (D3)

《日本教育心理学会 第四十九回総会》

日程 二〇〇七年九月十五日 於 文教大学越谷大学

- ・「教育の質的差異における宗教性と死生観の関係」

石野 学・小山秀之(M2)・島田 修(文学部教授)

・「青年期抑うつ者の認知過程に関する研究―自己注目状態を変数として―」

小山秀之・石野 学(M2)・美濃哲郎(関西福祉科学大学院教授)

《日本心理臨床学会 第二十六回大会》

日程 二〇〇七年九月二十七日 於 東京国際フォーラム

・「ラポールの2面性に関する一考察―認知可能なラポールと認知不可能なラポール」

赤田太郎(D3)

《論文》

・「ヤパースの哲学と教育学の間で…交わりの教育学のナラトロジー」

『教育哲学研究』(日本教育哲学会編) 第九十四号

広川義哲(研究生)

・「遊戯療法におけるラポールの構成因子の分析―ラポール測定尺度による治療者のラポール認知と心理臨床に基づくラポールの定義―」

『龍谷大学教育学会紀要』第五号(二〇〇六)

赤田太郎(D3)

国史学専攻

二〇〇六年度後期

《研究発表例会》

・第十二回 十月十一日(水)

渡唐天神説話成立前後の禪宗と地域社会

芳澤 元(M2)

・第十三回 十月二十日(金)

『葉隠』の思想とその位置づけ

内田紀子(M2)

・第十四回 十一月八日(水)

畿内政権と周辺地域の群集墳

木許守(M2)

・第十五回 十一月十五日(水)

十五年戦争期の中国における従軍布教

寺戸尚隆(M2)

・第十六回 十一月二十二日(水)

日中戦争期における日本兵士の『反戦』運動

磯崎 啓(M2)

・第十七回 十一月二十九日(水)

ある律令官人

造酒 豊(M2)

・第十八回 十二月六日(水)

人物埴輪の樹立とその意義

栗村恭岳(M2)

《研究会・輪読会》

古代史料輪読会 隔週金曜日六講時より

担当 造酒豊(M2)

中世史研究会 月一回曜日時間不定

担当 長谷部寿彦(D2)

近世史料輪読会 隔週木曜日四講時より

担当 高山嘉明(D2)

近代史研究会 曜日時間不定
古文書研究会 毎週火曜日五講時より

担当 木下和子 (D2)

担当 岡村喜史 (文学部助教授)

《考古学研究室活動》

□ 考古学研究室遺跡見学会

- ・ 六月十八日 (日) 大和 (奈良県天理市)
- ・ 十月十五日 (日) 上町台地 (大阪府大阪市)

□ 龍谷大学考古学談話会

- ・ 第三十九回 龍谷大学考古学談話会 十月二十二日 (日)
人物埴輪の樹立とその意義 栗村恭岳 (M2)
- ・ 年輪年代測定と初期須恵器 杉本 宏 (宇治市教育委員会)
いわゆる「生駒西麓産」胎土の解釈の一視点

堀 真人 (滋賀県文化財保護協会)

- ・ 第四十回 龍谷大学考古学談話会 十二月十日 (日)

今夏、イギリスへの旅 岡崎晋明 (本学文学部教授)

特殊器台・壺からみた吉備社会

北井利幸 (D3・尼崎市立田能資料館嘱託)

須恵器編年の限界と展望 植田隆司 (大阪狭山市教育委員会)

□ 研究会・輪読会

- ・ 考古学研究会 (1) 毎週火曜日午後七時～九時

担当 北井利幸 (D3・尼崎市立田能資料館嘱託)

- ・ 考古学研究会 (2) 毎週金曜日午後七時より

担当 栗村恭岳 (M2)・今西康宏 (M2)

□ 『国史学研究』第三十号 (二〇〇七年三月発行)

二〇〇七年度前期

《研究発表例会》

- ・ 第一回 六月一日 (金)

原田宏美 (M1)

- ・ 第二回 六月十五日 (金)

生麦事件・薩英戦争について

飛驒安永法論―「得タル」浄明の思想について― 三嶋 信 (M2)

- ・ 第三回 六月二十二日 (金)

御成敗式目に見る幕府・御家人 穴堀浩志 (M1)

- ・ 第四回 七月六日 (金)

戦国期における紀伊国一向宗について―天正期本願寺・毛利氏連

合を中心に― 池田明弘 (M2)

《研究会・輪読会》

古代史輪読会 毎月第三土曜日午後五時より 担当 造酒豊 (M3)

中世史研究会 毎月第二火曜日三講時

担当 岸田裕之(文学部教授)

近世史料輪読会 隔週火曜日五講時より

担当 高山嘉明(D3)

近代史研究会 曜日時間不定

担当 木下和子(D3)

古文書研究会 毎週金曜日五講時より

担当 岡村喜史(文学部准教授)

《考古学研究室活動》

□考古学研究室遺跡見学会

・向日丘陵の遺跡を巡る(向日の首長系譜)

日時 二〇〇七年五月十三日(日) 十時~十七時

場所 京都府向日市

参加者 十人

□龍谷大学考古学談話会

第四十一回 龍谷大学考古学談話会

日時 二〇〇七年六月十日(日) 十三時三十分~十七時

場所 大宮学舎南費南一〇四室

発表

「兵庫県高砂市 阿弥陀十五号墳の調査成果について」

今西康宏(M2)

「時光寺古墳発掘調査報告」 真鍋貴匡(L4)・谷崎仁美(L3)

「畿内政権と周辺地域の群集墳」 木許守(D1)

参加者 四十四人

□兵庫県高砂市 時光寺古墳第五次発掘調査

期間 二〇〇七年七月十七日~八月三十日

場所 兵庫県高砂市

参加者 十七人

□研究会・輪読会

弥生文化の研究 毎週火曜日午後七時~九時

担当 北井利幸(D4)

中期古墳の研究 毎週金曜日午後七時~九時

担当 今西康宏(M2)

東洋史学専攻

二〇〇六年度後期

《学部生研究発表例会》

於 大宮学舎西費二階東洋史学合同研究室

第一回 十月二十七日(金)

・元代中期のキプチャク軍団研究―特に武宗・仁宗・英宗期(二

三〇七~一三三三)を中心に― 山本真弘(L4)

第二回 十月三十一日(火)

・鄭氏台湾の統治政策についてーオランダ支配期と比較してー

辰巳真也 (L4)

第三回 十一月一日(水)

・反乱から見たバグダード建設

本田洋子 (L4)

第四回 十一月二日(木)

・市舶司からみる日宋貿易

森 弥苗 (L4)

・モンゴル帝国の軍事機構

篠崎順亮 (L4)

第五回 十一月二十五日(金)

・雲南における洋務運動と土司

望月直人 (L4)

《第三十回研究大会》

日時 十二月八日(金) 午後一時十五分より

於 大宮学舎本館二階講堂

研究発表

・「夏」と「諸夏」について

深山正俊 (M2)

・満漢档案利用による清朝北辺の卡倫研究

斎藤秀如 (M2)

・明末に於ける関羽の治河顕霊

朝山明彦 (D5)

文学部特別講義の部

講師 藤本幸夫先生(富山大学教授)

演題 朝鮮の出版文化

二〇〇七年度前期

《第三十一回総会》

日時 六月十五日(金) 午後一時半より

於 大宮学舎清和館三階ホール

記念講演

講師 小南一郎先生(京都大学名誉教授・本学教授)

演題 社の祭祀とその機能

《輪読会の運営》

・初級・中級漢文輪読会

毎週木曜日 二講時及び四講時(同内容)

テキスト『論語義疏』

責任者 池田將則 (D1)

・その他の漢文輪読会

テキスト 先秦史料↓詳しくは要相談

毎週木曜日 午後三時より

責任者 石本利宏 (D2)

テキスト『魏書』(巻二 太祖道武帝本紀)

毎週木曜日 午後三時より

責任者 赤羽奈津子 (D3)

テキスト『史記』(巻二二九 貨殖列伝)

毎週木曜日 午前十一時より

責任者 佐伯光祥 (D5)

日本語日本文学専攻

テキスト『三国志』(巻四九 劉繇太史慈士燮伝)

《日本近世文学会 平成十八年度秋季大会》

毎週水曜日 午後四時四十五分より

日程 二〇〇六年十一月五日 (日)

責任者 朝山明彦 (D6)

於 静岡県コンベンションアーツセンター

テキスト『宋史紀事本末』等

毎週水曜日 午後三時より

・京都経師の出版活動

万波寿子 (D3)

責任者 大島勝俊 (D6)

・チベット語輪読会

日時要相談

《日本近代文学会関西支部 二〇〇七年度春季大会》

責任者 大西啓司 (D3)

日程 二〇〇七年六月九日 (土)

・学部生対象欧文文献輪読会

毎週金曜日 午後七時より

於 大阪大学大学教育実践センター

責任者 宮本亮一 (D3)

・蒼井雄『船富家の惨劇』の時刻表トリック 浦谷一弘 (D3)

・学部生対象ドイツ語文献輪読会

日時要相談

責任者 八木春樹 (D2)

《中世文藝談話会》

・ペルシア語輪読会

日程要相談

日程 二〇〇七年六月十七日 (日)

責任者 村岡倫 (本学文学部教授)

於 龍谷大学大宮学舎北翼二〇一教室

・ペルシア語中級輪読会

日程未定

・南都僧の動きと後醍醐天皇

吉田 唯 (M2)

責任者 土屋和良 (賛助会員)

・『義経記』における佐藤忠信―鎌田正清との関係から―

・現代トルコ語初級輪読会

日程未定

勝亦智之 (D3)

責任者 土屋和良 (賛助会員)

・チャガタイ・トルコ語入門輪読会

日程未定

《関西軍記物語研究会 第六十回例会》

責任者 土屋和良 (賛助会員)

日程 二〇〇七年七月十六日 (月) 於 ペンションととファミリ―

・『義経記』における佐藤忠信―鎌田正清との関係から―

勝亦智之 (D3)

《二〇〇七年度日本語日本文学専攻合同研究発表会》

日程 二〇〇七年七月二十八日(土)

於 龍谷大学大宮学舎北翼二〇二教室

- ・『平家物語』の木曾義仲の考察―覚一本平家物語の「猫間」の章段の生成―
齊藤美津子 (M3)
- ・『愛染王紹隆記』考
吉田 唯 (M2)
- ・菊屋喜兵衛の研究
足立賀奈子 (M2)
- ・柏原屋清右衛門の出版活動
徳井文香 (M2)

英語英米文学専攻

二〇〇六年度(後期)

《研究発表会》

日程 九月十六日(土) 午後二時―五時 於 清和館 3F

- ・ Advertisements and Communication: A Relevance-Theoretic Account
高 岩 (D1)

二〇〇七年度(前期)

《第一回談話会》

日程 四月十六日(月) 午前十時四十五分―十二時半

於 英語英米文学同研究室

- ・ *Macbeth* におけるイメジャリーについての考察

小林さつき (M1)

- ・ 文副詞について
中野太加志 (M1)

- ・ What is the relationship between correction + repair and the flow of L2 classroom interaction?
藤本麻記 (M1)

- ・ Mary Shelley's *FRANKENSTEIN or The Modern Prometheus* における創造と破壊の苦しみについて
(資料提出のみ)
浅尾健二 (M1)

《第二回談話会》

日程 七月十三日(金) 午後三時―五時

於 英語英米文学同研究室

- ・ 『MLA 英語論文の手引き(第4版)』の読み合わせ
pp.10-30 図書館の利用法、予備文献リストの作成
手島良次 (M3)

- ・ 『MLA 英語論文の手引き(第4版)』の読み合わせ
pp.31-52 盗用
藤本麻記 (M1)

- ・ 『MLA 英語論文の手引き(第4版)』の読み合わせ
pp.53-71 スペリング、句読法
龍口華慧 (M2)